


庭に野鳥を呼ぼう

(座学2)野鳥がくらす環境を守ろう

- ・庭に野鳥を呼ぼう 庭からはじめる生物多様性保全の取り組み
- ・日本野鳥の会大阪支部の活動紹介
大阪からネイチャーポジティブの動きを



「おおさか生物多様性応援宣言」とは、大阪府が2023年4月から開始した制度で、生物多様性の保全に積極的に取り組むことを宣言する府内の企業や団体を登録し、その取り組みに対し、府がPRやサポートを行うというものです。
本会も登録団体として「**野鳥を守ることは生物多様性を守ること**」を旗印に、生物多様性保全や回復への取り組みを進めています。

おおさか生物多様性

日本野鳥の会大阪支部 支部長 **納家 仁**

1

庭に野鳥を呼ぼう

■庭に野鳥を呼ぼう

多くの鳥を呼ぶために

食べ物

水場

身を隠す場所

巣をつくる場所

木の实

水飲み


藪

巣箱

草の種

水浴び

下草



2

庭に野鳥を呼ぼう

緑

が多いほど、野鳥がやってくる

- ・鳥の好む実のなる木を植える
- ・在来の植物を植える
- ・出来る限り木を刈り込まない
- ・農業散布をやめる などで

■近くの雑木林をイメージして、鳥の大好きな実のなる木を中心に庭づくりをしよう。
常緑高木：モチノキ、ネズミモチなど
落葉高木：エノキ、ムクノキ、コナラ、カラスザンショウなど
低木(生垣)：ニシキギ、ムラサキシキブ、サンショウ、ヤブツバキ等

鳥の餌となる昆虫類が多く生息するようになり、緑の質や量がアップし、多くの野鳥が集まるようになる。




モチノキ

ビラカンサ

3

庭に野鳥を呼ぼう

水

を飲む、水を浴びる

街中には鳥たちが水を飲んだり、水浴びするのに適当な場所が思ったよりも少ない。1年中、鳥たちが利用できる水場をつくらう

■植木皿や花器などを利用すれば、水場も簡単に用意できる。中には石などを入れ浅瀬をつくらう。



4

庭に野鳥を呼ぼう

土

が小さな生命を育む

街中では、アスファルトやコンクリートで地面が固められ、土の存在そのものが貴重。クヌギやナラなどの枯葉や腐葉土を地面に敷きつめれば、ミミズやコガネムシの幼虫などが増え、鳥たちの大切な餌場に




最も身近な自然である庭が、いろんな生きものたちの生息環境としての機能を持つ庭に生まれ変われば、地域の生物多様性の保全にも貢献できます

5

庭に野鳥を呼ぼう

巣箱をかけてみよう 住宅難の鳥たちのために

～庭にかけるならシジュウカラ用巣箱～


厚さ9ミリ程度の木の板を用意して自作してみよう。


- ・巣箱をかける時期：繁殖期に入る前の冬の間がよい
- ・かける場所：高さ1.5m～2m程度
- ・樹木への巣箱の固定は、シュロ縄を使おう
- ・横枝の近くには設置しない(外敵の侵入防止のため)
- ・雨が吹き込まないように、少し下に傾ける
- ・利用した巣箱はシーズンオフにメンテナンス。巣箱を開けて、巣材を捨てて(コレクションも可)掃除しよう

シジュウカラ用巣箱

甲部：センチ







6

日本野鳥の会の活動紹介

「野鳥も人も地球のなかま」

～野鳥と人がともにすすめる社会を実現するために～

日本野鳥の会は、1934年に設立され、多くの会員に支えられた自然保護団体です。当会では、自然と人間との共存、調和を目指し、生物多様性の保全に取り組んでいます。野鳥と人がともにすすめる社会を実現するために、当会は主に4つの活動を行なっています。

自然保護活動

当会の活動の根幹となる自然保護活動では、絶滅のおそれのある希少な野鳥の保護と、生息地の保全、政策提言等の活動を展開しています。

自然観察や保護の普及活動

野鳥を通して自然を科学的に見ることが出来る国民を増やすために、バードウォッチングの普及に努め、野鳥に関する科学的な知識及びその適正な保護思想を普及します。

自然系施設の運営活動

重要サンクチュアリや受託サンクチュアリの管理運営を通じ、野鳥の魅力や地域の自然の大切さを伝えとともに、サンクチュアリを拠点とした地域の自然環境保全活動を推進します。

収益活動

バードウォッチングの商品、野鳥や自然をモチーフにした商品を販売し、自然や野鳥の素晴らしさを、野鳥観察の楽しさを普及するとともに、当会の活動を支える資金を獲得します。

B 公益財団法人 日本野鳥の会
Wild Bird Society of Japan

7

日本野鳥の会の活動紹介

自然観察や保護の普及活動について

野鳥や自然とのふれあいを通して、自然環境に興味を持つ方や、守りたいと考える方を増やしていくための活動です。全国各地の連携団体（支部）やサンクチュアリと連携し、さまざまな活動を行なっています。



8

日本野鳥の会の活動紹介

海洋プラスチックごみから、海鳥を守る




プラスチック汚染の海鳥への影響と、私たちにできること

日常生活のあらゆる場面で使われるプラスチックが、プラスチックごみとなって海洋環境を汚染し、海鳥やウミカメ、魚などのさまざまな生きものに影響を与えています。世界は今、「気候変動」、「生物多様性の喪失」、「汚染」という3つの大きな危機に瀕していますが、プラスチックの問題は、このすべての危機に関わっています。プラスチックの問題は、どこか遠くで起きているものではなく、私たちの日常生活と密接につながっています。解決するには、私たち一人ひとりが行動することが必要です。


9

はじめてのバードウォッチング

■大都市「大阪」にも、まだまだ野鳥の見られる里山環境や河川などの自然が残っています。ふだんの生活の中で、身近なところに鳥たちが暮らしていることには、なかなか気づかないものです。でも少し注意して見てみると、スズメやハト、カラスだけでなくいろいろな鳥たちがいることが分かるようになります。

■鳥を見たり、さえずりを聞くことで季節の変化を感じたり、心が癒されたり、また鳥を求めて山や野を歩くことで健康にもプラスに・・・

■バードウォッチングは心にも体にも、いい趣味です。
双眼鏡と図鑑があれば、だれでもどこでも楽しむことができます。



10

はじめてのバードウォッチング

バードウォッチングをはじめるときに準備するもの

はじめての図鑑はこれがおススメ！
＜ハンディ図鑑＞新・山野の鳥 改訂版 各660円
新・水辺の鳥 改訂版（税込）
日本野鳥の会オリジナル




- ①フィールドノート
観察した鳥の記録をメモに残すポケットサイズのもが便利
- ②野鳥図鑑 鳥を調べるために必要
- ③双眼鏡 鳥の姿を大きく見るために必要

はじめての双眼鏡はこれがおススメ！



参考価格
日本野鳥の会
バードショップ
16,830円（税込）

コーフ YF II 30-8 8×30
コストパフォーマンス抜群の入門機
機種名の「8×30」という数字は倍率が8倍、対物レンズの口径が30ミリということを示しています。初心者には倍率8倍、口径30ミリ程度のものが扱いやすいですが、より軽量でコンパクトなものがないという方は口径20ミリクラスのものを選択肢になります。明るさを重視する方は重くなりますが、口径40ミリクラスのものがおすすです。

(1) わかりやすいしらすべやすい！
イラスト図鑑だから、特徴的な色やかたちが一目でわかり、同じページで見たり見られる場所が似た鳥を比べられます。また、よく見られる種に絞って掲載しているので、目当ての鳥を調べやすい！
(2) 薄くて軽くてポケットサイズ
新書サイズで厚さ約5mm。気軽に持ち歩けます。
(3) 野鳥の音が聞ける！
「鳴き声タッチペン」で野鳥の声を再生できる音声コード付き。

11

日本野鳥の会大阪支部の活動紹介

■探鳥会が・・・すごーい



- ・年間開催数（148回）・参加者数（3,188名）
- 断トツ 日本一 ＊数字は2022年度
- ・府内での定例探鳥会 18ヶ所
- 大阪府内を中心に探鳥会を開催しています。
- ・バードウォッチングが初めてという方でも心配はいりません。野鳥に詳しいベテランも参加していますので、わからないことは何でも聞いてみてください。お一人で、又は気の合ったお友達を誘って、山・野原・海・川にすむ鳥たちに会いに行きましょう。
- 参加費 会員：100円 非会員：300円 高校生以下は無料

★日本野鳥の会の会員でなくても参加できます。

★初めてバードウォッチングをされる方、大歓迎です！
リーダーが野鳥の名前、特徴や見つけ方のコツなどを初心者の方向けに丁寧にお伝えします。

★双眼鏡や図鑑がなくても参加できます。

※定例探鳥会以外に一般探鳥会や平日探鳥会なども開催

どなたでも会員になれます。
鳥を愛し、自然を愛するなかまは全国に約5万人、大阪支部会員数は約1800人
あなたも、日本野鳥の会に入会しよう

12

大阪支部主催定例探鳥会開催地

鉢ヶ峯探鳥会 毎月第1日曜日
9:15～14:00
鉢ヶ峯は堺市の南部丘陵地にあり、里山的景観が見られる所です。農耕地や集落、雑木林やため池・小河川などからなり、野鳥を始め昆虫や野草など四季折々の自然が観察でき、楽しめます。
※事前申し込み制

錦織公園探鳥会 毎月第4日曜日
9:30～14:30
大阪府営錦織(にしこおり)公園は、羽曳野丘陵の南端にあり、丘陵の地形がそのまま生かされた公園です。森林や草地、せせらぎや溜め池など、「里山」の環境が豊かに残されており、数多くの生き物が生息しています。
※事前申し込み制

詳しくは日本野鳥の会大阪支部のホームページをご覧ください

13

日本野鳥の会大阪支部の活動紹介

むくどり通信 (会報) 年5回(1,3,5,8,11月)発行
・人気連載：和田岳さんの「身近な鳥から鳥類学」、小山慎司さんの「日本列島鳥見旅」
・会員投稿による「鳥信」野鳥のホットな情報発信
・初心者向けのものから学術的なもの、マニアックな記事まで幅広く掲載

ホームページやSNSでの情報発信
・探鳥会などのイベント情報の案内や結果報告などタイムリーな情報を発信
・会員専用ページでは、野鳥図鑑や鳥の羽根、会報バックナンバーの閲覧が可能

鳥ガールのXでも情報発信中
<https://twitter.com/torigirilosaka>

14

日本野鳥の会大阪支部の活動紹介

その昔よりの千鳥の洲なるべし 高浜年尾
千鳥の洲とて訪ねたき心すく 稲畑汀子

大阪湾岸に生物多様性豊かな千潟や湿地をとり戻すための
共同宣言
2025年1月15日

2025大阪湾岸に生物多様性豊かな千潟や湿地をとり戻すための共同宣言
<https://www.youtube.com/watch?v=vKizy5sufJo>

15

<https://youtu.be/DztKU0Fk8x8>

WE MUST ALL TAKE ACTION TO SECURE

2030

2030年にネイチャーポジティブな世界を実現するために行動しなければなりません
A NATURE-POSITIVE WORLD THIS DECADE

16

自然のための世界目標：2030年までのネイチャーポジティブ

ネイチャーポジティブとは「2030年までに自然の損失を止めて上向きに転じること」。主要7カ国（G7）サミットや国連で合意された世界目標

2020年からの自然のゼロ・ネット・ロス

2030年までにネット・ポジティブ

2050年までに完全回復

2030年までのネイチャーポジティブへの軌跡。出典：www.naturepositive.org

17

シギやチドリを守るとは
干潟や湿地にくらす多くの生き物をまもること
私たちが生物多様性の恩恵なしでは生きてはいけません

おわり

18